

JR福知山線・列車事故について

(2005.5.9)

4月25日、JR福知山線で大変悲しい列車事故が発生。辻泰弘は、当日、民主党対策本部の副本部長として、現地視察に赴き、同日から国会等で対応に当たりました。以下はその一端。4月27日の参議院本会議での質疑の概要です。

辻 泰弘：私は、民主党・新緑風会を代表し、兵庫県尼崎市の JR 福知山線において発生した脱線事故につきまして、官房長官、国土交通大臣、及び国家公安委員長に御質問申し上げます。

まず、このたびの事故で亡くなられた犠牲者の方々とその御遺族の皆様方に対して心から哀悼の意を表しますとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

民主党は、菅直人前代表を本部長とする事故対策本部を設置し、私はその副本部長として、当日の午後、事故現場に駆け付けました。痛々しい現場を目の当たりにし、大変なショックを受けた次第であります。このような悲惨な事故を二度と起こさないため、原因の徹底究明と再発防止対策に万全を期さなければなりません。(以下の六点は質問項目のみ)

- 被害の状況、発生当初から現在に至るまでの政府・関係各省庁の対応
- 事故の原因についての所見と今後の事実解明に向けての方針
- レール上の置き石があった可能性についての把握状況
- JR 西日本の速度優先、ダイヤ優先の体質が問題との指摘に対する見解
- 乗務員の教育訓練・適性検査の実態、全国の鉄道各社に対する指導の実情と今後の方針
- 脱線防止ガードの設置対象基準拡大の必要性、新型 ATS の全国への普及促進に対する所見

私は、兵庫県の出身者として、阪神・淡路大震災において大変悲しい体験を致しました。震災は自然災害であります。今回の事故は人災と言うべきでありましょう。

自然災害への備えに務めるとともに、かかる人災が二度と起こらぬよう、原因の徹底究明と再発防止対策に万全を期すことを重ねて政府に強く求め、私の質問を終わります。

細田 内閣官房長官：事故の一報で官邸対策室を設置。国土交通省、消防庁、警察庁などの関係省庁で対策本部を立ち上げ、被災者の救助・救援を最優先。自衛隊など現場で連携・支援を確認。

北側 国土交通大臣：直ちに現場急行。対策本部設置。総勢 10 名事故調査委員会派遣。原因究明・再発防止に全力。置き石が原因か不明。安全が鉄道の基本。JR 西日本の公表内容の翌日大幅変更は信頼に反し残念。鉄道関係省令で定期的な適性検査等指導。同社も乗務員の教育訓練・検査実施と聞く。全国鉄道会社を適切指導。脱線防止ガードの効果検証。ATS の改良逐次実行。

村田 国家公安委員長：兵庫県警、大阪府警の広域緊急援助隊が救助活動。原因解明に捜査を徹底。